

本資料のうち、枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料	
資料番号	KK7 本文-005-3 改1
提出年月日	2020年7月10日

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料  
原子炉冷却系統施設のうち  
残留熱除去設備  
(残留熱除去系)

2020年7月

東京電力ホールディングス株式会社

## 5.1 残留熱除去系

### (2) 熱交換器

- ・常設
  - a. 残留熱除去系熱交換器

### (3) ポンプ

- ・常設
  - a. 残留熱除去系ポンプ

### (5) ろ過装置

- ・常設
  - a. 残留熱除去系ストレーナ

### (6) 安全弁及び逃がし弁

- ・常設

### (7) 主要弁

- ・常設

### (8) 主配管

- ・常設

5 残留熱除去設備に係る次の事項

5.1 残留熱除去系

(2) 熱交換器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力 (管側及び胴側の別に記載すること。), 最高使用温度 (管側及び胴側の別に記載すること。), 伝熱面積, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

a. 残留熱除去系熱交換器

			変更前	変更後	
名 称			残留熱除去系熱交換器*1	残留熱除去系熱交換器*2	
種	類	—	横置U字管式	変更なし	
容 量 ( 設 計 熱 交 換 量 )	MW/個		<input type="text"/> *3 (8.15*5) <sup>*4</sup>		
管 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	3.43*3		
	最 高 使 用 温 度	℃	182		
胴 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	1.37*3		
	最 高 使 用 温 度	℃	70	変更なし 90*6	
伝 熱 面 積	m <sup>2</sup> /個		<input type="text"/> 以上*3 ( <input type="text"/> *5, *7)	変更なし	
主 要 寸 法	管 側	水 室 内 径	mm		1800*5
		鏡 板 厚 さ*8	mm		<input type="text"/> *9(32.0*5)
		鏡板の形状に係る寸法	mm		900*5, *9(鏡板の内半径)
		管台外径 (管側入口)	mm		530.0*5, *9
		管台厚さ (管側入口)	mm		<input type="text"/> (31.6*5) <sup>*9</sup>
		管台外径 (管側出口)	mm		530.0*5, *9
		管台厚さ (管側出口)	mm	<input type="text"/> (31.6*5) <sup>*9</sup>	

			変更前	変更後	
主要寸法	胴側	胴内径 <sup>*10</sup>	mm	1600 <sup>*5</sup>	変更なし
		胴板厚さ <sup>*11</sup>	mm	<input type="text"/> <sup>*9</sup> (16.0 <sup>*5</sup> ), <input type="text"/> <sup>*9</sup> (32.0 <sup>*5</sup> )	
		鏡板厚さ <sup>*12</sup>	mm	<input type="text"/> <sup>*9</sup> (16.0 <sup>*5</sup> )	
		鏡板の形状に係る寸法	mm	1600 <sup>*5, *9</sup> (鏡板の内面における長径)	
			mm	400 <sup>*5, *9</sup> (鏡板の内面における短径の2分の1)	
		管台外径(胴側入口)	mm	406.4 <sup>*5, *9</sup>	
		管台厚さ(胴側入口)	mm	<input type="text"/> <sup>(12.7<sup>*5</sup>)</sup> <sup>*9</sup>	
		管台外径(胴側出口)	mm	406.4 <sup>*5, *9</sup>	
	管台厚さ(胴側出口)	mm	<input type="text"/> <sup>(12.7<sup>*5</sup>)</sup> <sup>*9</sup>		
	管板厚さ	mm	<input type="text"/> <sup>*9</sup> (220.0 <sup>*5, *13</sup> )		
	伝熱管外径	mm	<input type="text"/> <sup>*5</sup>		
	伝熱管厚さ	mm	<input type="text"/> <sup>*9</sup> ( <input type="text"/> <sup>*5</sup> )		
全長	mm	6600 <sup>*5</sup>			
材料	管側	鏡板	—	SGV480 <sup>*14</sup>	
	胴側	胴板	—	SGV480 <sup>*14</sup>	
		鏡板	—	SGV480 <sup>*14</sup>	
	管板	—	SFVC2B		
	伝熱管	—	SUS316LTB		
個数	—	—	3		

			変更前			変更後
取 付 箇 所	系 統 名	—	残留熱除去系 熱交換器 A 残留熱除去系 A 系	残留熱除去系 熱交換器 B 残留熱除去系 B 系	残留熱除去系 熱交換器 C 残留熱除去系 C 系	変更なし
	設 置 床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	
	溢水防護上の区画番号	—	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—				

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1)残留熱除去系熱交換器」と記載。

\*2 : 残留熱除去系熱交換器(A), (B), (C)のうち残留熱除去系熱交換器(A), (B), (C)が非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(サブプレッションチェンバプール水冷却系), 残留熱除去系熱交換器(B)が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(代替循環冷却系), 残留熱除去系熱交換器(B), (C)が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(格納容器スプレイ冷却系)と兼用。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : SI 単位に換算したものである。

\*5 : 公称値を示す。

\*6 : 重大事故等時における使用時の値。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板厚さ」と記載。

\*9 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-1-3-1「残留熱除去系熱交換器の強度計算書」による。

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載。

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体厚さ」と記載。

\*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴部鏡板厚さ」と記載。

\*13 : ステンレス鋼クラッドを含まない厚さである。

\*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SGV49」と記載。記載内容は, 設計図書による。

(3) ポンプの名称, 種類, 容量, 揚程又は吐出圧力, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所並びに原動機の種類, 出力, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

a. 残留熱除去系ポンプ

3-5-4

			変更前			変更後			
名称			残留熱除去系ポンプ*1			残留熱除去系ポンプ*2			
ポンプ	種類	—	ターボ形			変更なし			
	容量*3	m <sup>3</sup> /h/個	[ ] 以上*4 (954*5)						
	揚程*6	m	[ ] 以上*4 (125*5)						
	最高使用圧力	MPa	吸込側 1.37 吐出側 3.43						
	最高使用温度	℃	182*4						
	主要寸法	吸込内径	mm	438.2*4, *5					
		吐出内径	mm	290.0*4, *5					
		ケーシング外径	mm	1300*4, *5					
		ケーシング厚さ	mm	[ ] (19.0*5)					
		高さ	mm	6440*5, *7					
	材料	ケーシング	—	[ ] *8					
		ケーシングカバー	—	[ ]					
	個数	—	3						
	取付箇所	系統名	—	残留熱除去系ポンプ A 残留熱除去系 A 系	残留熱除去系ポンプ B 残留熱除去系 B 系				残留熱除去系ポンプ C 残留熱除去系 C 系
設置床		—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm				

				変 更 前	変 更 後		
ポンプ	取付箇所	溢水防護上の区画番 号	—	—	R-B3-5	R-B3-11	R-B3-8
		溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		EL0.34m 以上	EL0.34m 以上	EL0.34m 以上
原 動 機	種	類	—	誘導電動機			変更なし
	出	力	kW/個	540			
	個	数	—	3			
	取	付	箇	所	ポンプと同じ*4		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2)残留熱除去系ポンプ」と記載。

\*2 : 残留熱除去系ポンプ(A), (B), (C)のうち残留熱除去系ポンプ(A), (B), (C)が非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(サブプレッションチェンバプール水冷却系), 残留熱除去系ポンプ(B)が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(代替循環冷却系), 残留熱除去系ポンプ(B), (C)が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(格納容器スプレイ冷却系)と兼用。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載。

\*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*5 : 公称値を示す。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格揚程」と記載。

\*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画の第2-3-5図「残留熱除去系ポンプ構造図」による。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「」と記載。記載内容は, 設計図書による。

(5) ろ過装置の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

a. 残留熱除去系ストレーナ

		変更前			変更後		
名称		残留熱除去系ストレーナ			残留熱除去系ストレーナ*1		
種類	—	円錐支持ディスク形			変更なし		
容量	m <sup>3</sup> /h/組*2	□以上*3, *4 (□*5)			変更なし		
最高使用圧力	kPa	— [310]*6			変更なし — [620]*6, *7		
最高使用温度	℃	104*8			変更なし 166*7		
主要寸法	外径	mm	□*5		変更なし		
	長さ	mm	□*5, *9				
	最小ディスクセット幅	mm	□*5, *10				
	ディスク間ギャップ	mm	□*5				
	トップフランジ外径	mm	□*5				
	ボトムスペーサ外径	mm	□*5				
	コネクタ外径	mm	□*5				
	コネクタ厚さ	mm	□以上*4 (□*5)				
	ディスクセット枚数	—	□				
材料	多孔プレート	—	□		変更なし		
	リブ	—	□				
	コネクタ	—	□				
個数	—	2*11	2*11	2*11			
取付箇所	系統名	—	残留熱除去系 ストレーナ A 残留熱除去系 A 系	残留熱除去系 ストレーナ B 残留熱除去系 B 系	残留熱除去系 ストレーナ C 残留熱除去系 C 系		
	設置床	—	原子炉格納容器 T. M. S. L. -8200mm	原子炉格納容器 T. M. S. L. -8200mm	原子炉格納容器 T. M. S. L. -8200mm		
取付箇所	溢水防護上の区画番号	—					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—				

注記\*1 : 残留熱除去系ストレーナ(A), (B), (C)のうち残留熱除去系ストレーナ(A), (B), (C)が非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(サブプレッションチェンバプール水冷却系), 残留熱除去系ストレーナ(B)が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(代替循環冷却系), 残留熱除去系ストレーナ(B), (C)が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備(格納容器スプレイ冷却系)と兼用。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。既工事計画書には「m<sup>3</sup>/h」と記載。

\*3 : 残留熱除去系ポンプ1台の定格容量を示す。

\*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*5 : 公称値を示す。

\*6 : 残留熱除去系ストレーナは, その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため, 最高使用圧力を設定しないが, ここでは, 原子炉格納容器(内圧)の最高使用圧力を[ ]内に示す。

\*7 : 重大事故等時における使用時の値。

\*8 : サプレッションチェンバの最高使用温度を示す。

\*9 : 圧損評価長さを示す。

\*10 : ボトムスペーサに接続するディスクセット幅を示す。

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には独立した3系列を組み合わせた「6」と記載。残留熱除去系ストレーナは, 独立した3系列のそれぞれで2個を1組として使用する。

(6) 安全弁及び逃がし弁の名称、種類、吹出圧力、吹出量、主要寸法、材料、駆動方法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

			変更前*1			変更後
名称			E11-F039A, B, C			変更なし
種類	—	平衡形				
吹出圧力	MPa	8.62				
吹出量	kg/h	□ *2				
主要寸法	呼び径	—	25A			
	のど部の径	mm	□ *2			
	弁座口の径	mm	□ *2			
	リフト	mm	□ 以上			
材料	弁箱	—	SCPH2			
駆動方法	—	—				
個数	—	3				
取付箇所	系統名	—	E11-F039A 残留熱除去系 A 系	E11-F039B 残留熱除去系 B 系	E11-F039C 残留熱除去系 C 系	
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm	
	溢水防護上の区画番号	—				
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—			

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2 : 公称値を示す。

			変 更 前*1			変 更 後
名 称			E11-F042A, B, C			変更なし
種 類	—		平衡形			
吹 出 圧 力	MPa	—		1.37		
吹 出 量	kg/h	—		□*2		
主 要 寸 法	呼 び 径	—	25A			
	の ど 部 の 径	mm	□*2			
	弁 座 口 の 径	mm	□*2			
	リ フ ト	mm	□以上			
材 料	弁 箱	—	SCPH2			
駆 動 方 法	—	—				
個 数	—	3				
取 付 箇 所	系 統 名	—	E11-F042A 残留熱除去系 A 系	E11-F042B 残留熱除去系 B 系	E11-F042C 残留熱除去系 C 系	
	設 置 床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm	
	溢水防護上の区画番号	—				
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—			

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2 : 公称値を示す。

			変更前*1			変更後		
名称			E11-F051A, B, C			E11-F051A, B, C*2		
種類	—		平衡形			変更なし		
吹出圧力	MPa	3.43						
吹出量	kg/h	□ *3						
主要寸法	呼び径	—	25A					
	のど部の径	mm	□ *3					
	弁座口の径	mm	□ *3					
	リフト	mm	□ 以上					
材料	弁箱	—	SCPH2					
駆動方法	—	—						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F051A 残留熱除去系 A 系	E11-F051B 残留熱除去系 B 系	E11-F051C 残留熱除去系 C 系			
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm			
	溢水防護上の区画番号	—	—					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—						

注記\*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*2 : E11-F051A, B, C のうち E11-F051A, B, C が非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（サプレッションチェンバプール水冷却系）、E11-F051A, B が非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系、低圧代替注水系）、E11-F051B が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）、E11-F051B, C が原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）と兼用。

\*3 : 公称値を示す。

(7) 主要弁の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

				変 更 前	変 更 後
名 称 <sup>*1</sup>				E11-F001A, B, C <sup>*2</sup>	— <sup>*3</sup>
種 類	—			止め弁	
主 要 寸 法 ( 呼 び 径 A )		—		450	
材 料	弁 箱	—		SCPL1	
	弁 ふ た	—		SCPL1	
駆 動 方 法		—		電気作動	
個 数		—		3	
取 付 箇 所		—		原子炉格納容器外	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F001A, B, C」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*3 : 当該弁は, 主要弁に該当しないため記載の適正化を行う。

3-5-11

		変更前*			変更後			
名称		E11-F004A, B, C			変更なし			
種類	—	止め弁						
最高使用圧力	MPa	3.43						
最高使用温度	℃	182						
主要寸法	呼び径	300A						
	弁箱厚さ	□以上						
	弁ふた厚さ	□以上						
材料	弁箱	SCPL1						
	弁ふた	SCPL1						
駆動方法	—	電気作動						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F004A 残留熱除去系 A 系	E11-F004B 残留熱除去系 B 系	E11-F004C 残留熱除去系 C 系			
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm			
取付箇所	溢水防護上の区画番号	—	—			R-B3-5	R-B3-11	R-B3-8
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—			EL0.34m 以上	EL0.34m 以上	EL0.34m 以上

注記\*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後
名称*1			E11-F005A*2	変更なし
種類	—	止め弁		
最高使用圧力	MPa	8.62*3		
最高使用温度	℃	302*3		
主要寸法	呼び径	—*4	250A*5	
	弁箱厚さ	mm	<input type="text"/> 以上*3	
	弁ふた厚さ	mm	<input type="text"/> 以上*3	
材料	弁箱	—	SCPL1	
	弁ふた	—	SCPL1	
駆動方法	—	電気作動		
個数	—	1		
取付箇所	系統名	—	残留熱除去系 A 系*3	
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm	
	溢水防護上の区画番号	—		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	EL2. 37m 以上

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F005A」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「250」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

			変更前		変更後			
名称*1			E11-F005B, C*2		変更なし			
種類	—	止め弁						
最高使用圧力	MPa	8.62*3						
最高使用温度	℃	302*3						
主要寸法	呼び径	—*4	250A*5					
	弁箱厚さ	mm	□以上*3					
	弁ふた厚さ	mm	□以上*3					
材料	弁箱	—	SCPL1					
	弁ふた	—	SCPL1					
駆動方法			電気作動					
個数			2					
取付箇所	系統名	—	E11-F005B 残留熱除去系 B 系 *3	E11-F005C 残留熱除去系 C 系 *3				
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm *6	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm *6				
溢水防護上の区画番号			—		R-1F-8	R-1F-9		
溢水防護上の配慮が必要な高さ			—		EL0.73m 以上	EL2.81m 以上		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F005B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「250」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

		変更前		変更後		
名称 <sup>*1</sup>		E11-F006B, C <sup>*2</sup>		変更なし		
種類	—	逆止め弁				
最高使用圧力	MPa	8.62 <sup>*3</sup>				
最高使用温度	℃	302 <sup>*3</sup>				
主要寸法	呼び径	— <sup>*4</sup>	250A <sup>*5</sup>			
	弁箱厚さ	mm	□以上 <sup>*3</sup>			
	弁ふた厚さ	mm	□以上 <sup>*3</sup>			
材料	弁箱	—	SCPL1			
	弁ふた	—	GLF2 相当 (ASME SA 350 Gr. LF2)			
	弁体	—	GLF2 相当 (ASME SA 350 Gr. LF2) <sup>*3</sup>			
駆動方法		—	空気作動 (窒素作動)			
個数		—	2			
取付箇所	系統名	—	E11-F006B 残留熱除去系 B 系 <sup>*3</sup>			E11-F006C 残留熱除去系 C 系 <sup>*3</sup>
	設置床	—	原子炉格納容器 T. M. S. L. 12300mm <sup>*6</sup>			原子炉格納容器 T. M. S. L. 12300mm <sup>*6</sup>
所	溢水防護上の区画番号	—	—			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—				

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F006B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「250」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は、設計図書による。

		変更前			変更後			
名称*1		E11-F008A, B, C*2			変更なし			
種類	—	止め弁						
最高使用圧力	MPa	3.43*3						
最高使用温度	℃	182*3						
主要寸法	呼び径	—*4	250A*5					
	弁箱厚さ	mm	□以上*3					
	弁ふた厚さ	mm	□以上*3					
材料	弁箱	—	SCPL1					
	弁ふた	—	SCPL1					
駆動方法	—	電気作動						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F008A 残留熱除去系 A 系 *3	E11-F008B 残留熱除去系 B 系 *3	E11-F008C 残留熱除去系 C 系 *3			
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm *6	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm *6	原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm *6			
所	溢水防護上の区画番号	—	—			R-B2-3	R-B2-5	R-B2-4
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—				EL □m 以上	EL1.63m 以上	EL1.62m 以上

- 注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。  
 \*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F008A, B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。  
 \*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。  
 \*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。  
 \*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「250」と記載。  
 \*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

		変更前			変更後	
名称 <sup>*1</sup>		E11-F010A, B, C <sup>*2</sup>			変更なし	
種類	—	止め弁				
最高使用圧力	MPa	8.62 <sup>*3</sup>				
最高使用温度	℃	302 <sup>*3</sup>				
主要寸法	呼び径	— <sup>*4</sup>	350A <sup>*5</sup>			
	弁箱厚さ	mm	□以上 <sup>*3</sup>			
	弁ふた厚さ	mm	□以上 <sup>*3</sup>			
材料	弁箱	—	SCPL1			
	弁ふた	—	SCPL1			
	弁体	—	SCPL1 <sup>*3</sup>			
駆動方法	—	電気作動				
個数	—	3				
取付箇所	系統名	—	E11-F010A <sup>*3</sup> 残留熱除去系 A 系	E11-F010B <sup>*3</sup> 残留熱除去系 B 系		E11-F010C <sup>*3</sup> 残留熱除去系 C 系
	設置床	—	原子炉格納容器 <sup>*6</sup> T. M. S. L. 12300mm	原子炉格納容器 <sup>*6</sup> T. M. S. L. 12300mm		原子炉格納容器 <sup>*6</sup> T. M. S. L. 12300mm
	溢水防護上の区画番号	—	—			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—				

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F010A, B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「350」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は、設計図書による。

		変更前			変更後			
名称 <sup>*1</sup>		E11-F011A, B, C <sup>*2</sup>			変更なし			
種類	—	止め弁						
最高使用圧力	MPa	8.62 <sup>*3</sup>						
最高使用温度	℃	302 <sup>*3</sup>						
主要寸法	呼び径	— <sup>*4</sup>	350A <sup>*5</sup>					
	弁箱厚さ	mm	□以上 <sup>*3</sup>					
	弁ふた厚さ	mm	□以上 <sup>*3</sup>					
材料	弁箱	—	SCPL1					
	弁ふた	—	SCPL1					
	弁体	—	SCPL1 <sup>*3</sup>					
駆動方法	—	電気作動						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F011A 残留熱除去系 A 系 <sup>*3</sup>	E11-F011B 残留熱除去系 B 系 <sup>*3</sup>	E11-F011C 残留熱除去系 C 系 <sup>*3</sup>			
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm <sup>*6</sup>	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm <sup>*6</sup>	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm <sup>*6</sup>			
所	溢水防護上の区画番号	—				R-1F-1	R-1F-8	R-1F-9
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—			EL □ m 以上	EL0.73m 以上	EL2.81m 以上

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F011A, B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「350」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

		変更前*			変更後				
名称		E11-F013A, B, C			変更なし				
種類	—	止め弁							
最高使用圧力	MPa	3.43							
最高使用温度	℃	182							
主要寸法	呼び径	—	300A						
	弁箱厚さ	mm	□以上						
	弁ふた厚さ	mm	□以上						
材料	弁箱	—	SCPL1						
	弁ふた	—	SCPL1						
駆動方法	—	電気作動							
個数	—	3							
取付箇所	系統名	—	E11-F013A 残留熱除去系 A 系	E11-F013B 残留熱除去系 B 系				E11-F013C 残留熱除去系 C 系	
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm				原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	
	溢水防護上の区画番号	—	—					R-B3-5	R-B3-11
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—			ELO. 34m 以上	ELO. 34m 以上	ELO. 34m 以上	

注記\*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変 更 前		変 更 後
名 称*1		E11-F018B, C*2		—*3
種 類	—	止め弁		
主 要 寸 法 ( 呼 び 径 A )	—	250		
材 料	弁 箱	—	SCPL1	
	弁 ふ た	—	SCPL1	
駆 動 方 法		—	電気作動	
個 数		—	2	
取 付 箇 所		—	原子炉格納容器外	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F018B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 当該弁は、主要弁に該当しないため記載の適正化を行う。

		変更前		変更後		
名称 <sup>*1</sup>		E11-F019B, C <sup>*2</sup>		変更なし		
種類	—	止め弁				
最高使用圧力	MPa	3.43 <sup>*3</sup>				
最高使用温度	℃	182 <sup>*3</sup>				
主要寸法	呼び径	— <sup>*4</sup>	100A <sup>*5</sup>			
	弁箱厚さ	mm	□以上 <sup>*3</sup>			
	弁ふた厚さ	mm	□以上 <sup>*3</sup>			
材料	弁箱	—	SCPH2			
	弁ふた	—	SCPH2			
駆動方法	—	電気作動				
個数	—	2				
取付箇所	系統名	—	E11-F019B 残留熱除去系 B 系 <sup>*3</sup>	E11-F019C 残留熱除去系 C 系 <sup>*3</sup>		
	設置床	—	原子炉建屋 <sup>*6</sup> T. M. S. L. 4800mm	原子炉建屋 <sup>*6</sup> T. M. S. L. 4800mm		
	溢水防護上の区画番号	—	—			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—			
				R-B-15	R-B-14	
				EL0. 26m 以上	EL0. 33m 以上	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

\*2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F019B, C」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「100」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

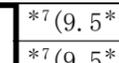
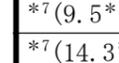
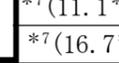
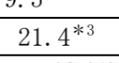
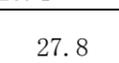
			変更前*			変更後		
名称			E11-F029A, B, C			変更なし		
種類	—		止め弁					
最高使用圧力	MPa		3.43					
最高使用温度	℃		182					
主要寸法	呼び径	—	150A					
	弁箱厚さ	mm	□ 以上					
	弁ふた厚さ	mm	□ 以上					
材料	弁箱	—	SCPH2					
	弁ふた	—	SCPH2					
駆動方法	—	電気作動						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F029A 残留熱除去系 A 系	E11-F029B 残留熱除去系 B 系	E11-F029C 残留熱除去系 C 系			
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm			
	溢水防護上の区画番号	—	—					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—					

注記\*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前*			変更後		
名称			E11-F030A, B, C			変更なし		
種類	類	—	止め弁					
最高使用圧力	MPa	—	3.43					
最高使用温度	℃	—	182					
主要寸法	呼び径	—	150A					
	弁箱厚さ	mm	□ 以上					
	弁ふた厚さ	mm	□ 以上					
材料	弁箱	—	SCPH2					
	弁ふた	—	SCPH2					
駆動方法	—	電気作動						
個数	—	3						
取付箇所	系統名	—	E11-F030A 残留熱除去系 A 系	E11-F030B 残留熱除去系 B 系	E11-F030C 残留熱除去系 C 系			
	設置床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm	原子炉建屋 T. M. S. L. 4800mm	原子炉建屋 T. M. S. L. 4800mm			
	溢水防護上の区画番号	—	—					
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—						

注記\*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(8) 主配管（使用済燃料貯蔵槽の補給及び冷却に用いるものを含む。）の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し，可搬型の場合は，個数及び取付箇所を付記すること。）  
 ・常設

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
残留熱除去系	*1 残留熱除去系ストレーナ(A) ～ 原子炉圧力容器(A)系出口配管合流部	0.31*2	104	457.2*3 /457.2 /457.2	 *3	*4 	*5 残留熱除去系ストレーナ(A) ～ 原子炉圧力容器(A)系出口配管合流部	変更なし 0.62*6	変更なし 166*6	変更なし		
				457.2*3								
	*9 原子炉圧力容器(A)系出口配管合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(A)	1.37*2	182	457.2*3		*7(9.5*3) SM400C*8	*5 原子炉圧力容器(A)系出口配管合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(A)	変更なし				
				466.8*3		*7(9.5*3) SM400C*8						
				355.6*3		*7(14.3*3) SM400C*8						
				366.8*3		*7(11.1*3) SM400C*8						
	*12 原子炉圧力容器 ～ 残留熱除去系(A)燃料プール冷却浄化系配管合流部	8.62*2	302	457.2*3, *10	9.5*3, *10	STPT410*10, *11	変更なし	9.22*6	変更なし 306*6	変更なし		
				318.5*3	21.4*3	STS410*13						
				318.5*3, *10	25.4*3, *10	STS410*10, *13						
				355.6*3	27.8*3	STS410*13						
*12 残留熱除去系(A)燃料プール冷却浄化系配管合流部 ～ 原子炉圧力容器(A)系出口配管合流部	1.37*2	182	355.6*3	11.1*3	STPT410*11	変更なし						
			355.6*3, *10	11.1*3, *10	STPT410*10, *11							
*15 E11-F016A ～ 残留熱除去系(A)燃料プール冷却浄化系配管合流部	1.37*2	182	355.6*3	11.1*3	STPT410*11	変更なし						
			355.6*3, *10	11.1*3, *10	STPT410*10, *11							
*16 残留熱除去系ポンプ(A) ～ 残留熱除去系ポンプ(A)出口分岐部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11	*5 残留熱除去系ポンプ(A) ～ 残留熱除去系ポンプ(A)出口分岐部	変更なし					
			318.5*3, *10	17.4*3, *10	STS410*10, *13							
			318.5*3	17.4*3	STS410*13							
*16 残留熱除去系ポンプ(A)出口分岐部 ～ 残留熱除去系熱交換器(A)	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11	*5 残留熱除去系ポンプ(A)出口分岐部 ～ 残留熱除去系熱交換器(A)	変更なし					
			318.5*3, *10	17.4*3, *10	STS410*10, *13							
			508.0*3 /318.5	26.2*3 /17.4	STS410*13							

変更前						変更後													
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料								
残留熱除去系	*17 残留熱除去系熱交換器(A) ～ サブプレッションプール水移送配管(A) 分岐部	3.43*2	182	508.0*3 /318.5	26.2*3 /17.4	STS410*13	*5 残留熱除去系熱交換器(A) ～ サブプレッションプール水移送配管 (A)分岐部	3.43	182	114.3*3,*20 125.5*3,*20	6.0*3)*20 (11.6*3)*20	SFVC2B*20 SFVC2B*20							
				318.5*3	14.3*3	STPT410*11							変更なし						
				318.5*3,*10	17.4*3,*10	STS410*10,*13													
				318.5*3 /318.5 /165.2*14	17.4*3 /17.4 /11.0*14	STS410*13													
	*17 サブプレッションプール水移送配管(A) 分岐部 ～ 熱交換器(A)出口配管合流部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11							*5 サブプレッションプール水移送配管 (A)分岐部 ～ 熱交換器(A)出口配管合流部	3.43	182	114.3*3,*20 125.5*3,*20	6.0*3)*20 (11.6*3)*20	SFVC2B*20 SFVC2B*20	変更なし
				318.5*3,*10	17.4*3,*10	STS410*10,*13													
	*17 熱交換器(A)出口配管合流部 ～ サブプレッションプール注水配管(A) 分岐部	3.43*2	182	318.5*3 /318.5 /318.5*14	17.4*3 /17.4 /17.4*14	STS410*13							*5 熱交換器(A)出口配管合流部 ～ サブプレッションプール注水配管(A) 分岐部	3.43	182	114.3*3,*20 125.5*3,*20	6.0*3)*20 (11.6*3)*20	SFVC2B*20 SFVC2B*20	変更なし
				318.5*3	14.3*3	STPT410*11													
				318.5*3 /318.5 /267.4	17.4*3 /17.4 /15.1	STS410*13													
	*17 サブプレッションプール注水配管(A) 分岐部 ～ 低圧炉心注水モード(A)分岐部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11							*18 サブプレッションプール注水配管(A) 分岐部 ～ 低圧炉心注水モード(A)分岐部	3.43	182	114.3*3,*20 125.5*3,*20	6.0*3)*20 (11.6*3)*20	SFVC2B*20 SFVC2B*20	変更なし
				318.5*3 /318.5*14 /318.5	17.4*3 /17.4*14 /17.4	STS410*13													
	*17 低圧炉心注水モード(A)分岐部 ～ 低圧代替注水配管残留熱除去系(A) 合流部	3.43*2	182	318.5*3,*10	17.4*3,*10	STS410*10,*13							*18 低圧炉心注水モード(A)分岐部 ～ 低圧代替注水配管残留熱除去系(A) 合流部	3.43	182	114.3*3,*20 125.5*3,*20	6.0*3)*20 (11.6*3)*20	SFVC2B*20 SFVC2B*20	変更なし
318.5*3				14.3*3	STPT410*11														
*17 低圧代替注水配管残留熱除去系(A) 合流部 ～ 高圧代替注水系合流部	3.43*2	182	—			*19 低圧代替注水配管残留熱除去系(A) 合流部 ～ 高圧代替注水系合流部	3.43	182	114.3*3,*20 125.5*3,*20	6.0*3)*20 (11.6*3)*20	SFVC2B*20 SFVC2B*20	変更なし							
			318.5*3	14.3*3	STPT410*11														
			318.5*3 /267.4	17.4*3 /15.1	STS410*13														
	8.62*2	302	267.4*3	18.2*3	STS410*13														

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
残 留 熱 除 去 系	高圧代替注水系合流部 ~ 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部 *17	—					高圧代替注水系合流部 ~ 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部 *21	8.62	302	165.2 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>	SFVC2B
	8.62 <sup>*2</sup>	302	267.4 <sup>*3</sup>	18.2 <sup>*3</sup>	STS410 <sup>*13</sup>	194.0 <sup>*3</sup>		28.7 <sup>*3</sup>	SFVC2B			
	変更なし											
	残留熱除去系ポンプ(A)出口分岐部 ~ 熱交換器(A)出口配管合流部 *15	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>	STPT410	変更なし					
	サプレッションプール水移送配管(A) 分岐部 ~ E11-F029A *15	3.43 <sup>*2</sup>	182	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	STPT410						
	E11-F029A ~ 残留熱除去系配管(A),(C)圧力抑制室 プール水排水系入口配管合流部 *15	3.43 <sup>*2</sup>	182	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	STPT410						
	残留熱除去系配管(A),(C)圧力抑制室 プール水排水系入口配管合流部 *15	1.72 <sup>*2</sup>	66	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	STPT410						
	残留熱除去系配管(A),(C)圧力抑制室 プール水排水系入口配管合流部 ~ 残留熱除去系配管(B)圧力抑制室プ ール水排水系入口配管合流部 *15	1.72 <sup>*2</sup>	66	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	STPT410						
	残留熱除去系配管(B)圧力抑制室プ ール水排水系入口配管合流部 ~ U49-F071 *15	1.72 <sup>*2</sup>	66	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	STPT410						
	サプレッションプール注水配管(A)分 岐部 ~ サプレッションチェンバ *22	182	267.4 <sup>*3</sup>	12.7 <sup>*3</sup>	9.3 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*11</sup>						
3.43 <sup>*2</sup>	104	267.4 <sup>*3</sup>	9.3 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*11</sup>								
0.31 <sup>*2</sup>	104	267.4 <sup>*3</sup>	9.3 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*11</sup>								
267.4 <sup>*3</sup>	9.3 <sup>*3</sup>	SUS304TP										

変更前						変更後												
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料							
残留熱除去系	*15 低圧炉心注水モード(A)分岐部 ～ 残留熱除去系配管(A), (C)燃料プール冷却浄化系入口配管合流部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410	変更なし											
				318.5*3, *10	17.4*3, *10	STS410*10												
	*15 残留熱除去系配管(A), (C)燃料プール冷却浄化系入口配管合流部 ～ 残留熱除去系配管(B)燃料プール冷却浄化系入口配管合流部	3.43*2	182	406.4	21.4	STS410												
				/406.4	/21.4													
	*15 残留熱除去系配管(B)燃料プール冷却浄化系入口配管合流部 ～ E11-F015	3.43*2	182	406.4	21.4	STS410												
				/406.4	/21.4													
	*24 残留熱除去系ストレナ(B) ～ 原子炉圧力容器(B)系出口配管合流部	0.31*2	104	457.2		*4						*25 残留熱除去系ストレナ(B) ～ 原子炉圧力容器(B)系出口配管合流部	変更なし 0.62*6	変更なし 166*6	変更なし			
				457.2*3														
	*26 原子炉圧力容器(B)系出口配管合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(B)	1.37*2	182	457.2*3		*7 (9.5*3)												SM400C*8
				457.2*3, *10	9.5*3, *10	STPT410*10, *11												
	*26 原子炉圧力容器(B)系出口配管合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(B)	1.37*2	182	457.2*3		*7 (9.5*3)												SM400C*8
				466.8*3	*7 (14.3*3)	SM400C*8												
355.6*3				*7 (11.1*3)	SM400C*8													
366.8*3				*7 (16.7*3)	SM400C*8													
*27 原子炉圧力容器 ～ 残留熱除去系(B)原子炉冷却材浄化系配管分岐部	8.62*2	302	355.6*3	23.8*3	STS410*13	*25 原子炉圧力容器(B)系出口配管合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(B)	変更なし	変更なし	変更なし									
			355.6	27.8	STS410*13													
*27 残留熱除去系(B)原子炉冷却材浄化系配管分岐部 ～ 残留熱除去系(B)燃料プール冷却浄化系配管合流部	8.62*2	302	355.6*3	23.8*3	STS410*13													
			355.6*3	11.1*3	STPT410*11													
*27 残留熱除去系(B)燃料プール冷却浄化系配管合流部	1.37*2	182	355.6*3, *10	11.1*3, *10	STPT410*10, *11													



変更前						変更後													
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料								
残留熱除去系	*30 熱交換器(B)出口配管合流部 ～ サブプレッションプール注水配管(B) 分岐部	3.43*2	182	*3 /318.5	*3 /17.4	STS410*13	*31 熱交換器(B)出口配管合流部 ～ サブプレッションプール注水配管(B) 分岐部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11							
				*3 /318.5*14	*3 /17.4*14								*31 サブプレッションプール注水配管(B) 分岐部						
				*3, *10 /318.5*3	*3, *10 /17.4*3								変更なし						
				*3 /318.5	*3 /17.4								変更なし						
	*30 サブプレッションプール注水配管(B) 分岐部 ～ サブプレッションチェンバスプレイモード(B)分岐部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11							*32 サブプレッションチェンバスプレイモード(B)分岐部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11	変更なし
	*30 サブプレッションチェンバスプレイモード(B)分岐部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11							*33 サブプレッションチェンバスプレイモード(B)分岐部	3.43*2	182	125.5*3	*7 (11.6*3)	SFVC2B	変更なし
				114.3*3	*7 (6.0*3)	SFVC2B													
*30 サブプレッションチェンバスプレイモード(B)分岐部 ～ ドライウェルスプレイモード(B)分岐部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11	*33 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11	変更なし							
													*30 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部						
*30 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部	3.43*2	182	318.5*3	17.4*3	STS410*13	*34 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部	3.43*2	182	318.5 /318.5	17.4 /17.4	STS410*13	変更なし							
			267.4*14	15.1*14					267.4*14	15.1*14									
*30 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部 ～ 低圧炉心注水モード(B)分岐部	3.43*2	182	318.5*3, *10	17.4*3, *10	STS410*10, *13	*35 低圧炉心注水モード(B)分岐部	3.43*2	182	318.5*3	17.4*3	STS410*13	変更なし							
			318.5 /318.5*14	17.4 /17.4*14					318.5 /318.5	17.4 /17.4									
*30 低圧炉心注水モード(B)分岐部 ～ 低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11	*35 低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部	3.43*2	182	318.5*3	17.4*3	STS410*13	変更なし							
			318.5 /267.4	17.4 /15.1					267.4*3, *10	15.1*3, *10			STPT410*10, *11						
			267.4*3	12.7*3					267.4*3	12.7*3				STPT410*11					
*30 低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部	3.43*2	182	267.4*3	15.1*3	STPT410*11	*36 低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部	3.43*2	182	267.4 /267.4 /165.2	15.1 /15.1 /7.1	変更なし	変更なし							

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
残留熱除去系	*30 低压代替注水配管残留熱除去系(B)合流部 ～ 原子炉压力容器	3.43*2	182	267.4*3	12.7*3	STPT410*11	*37 低压代替注水配管残留熱除去系(B)合流部 ～ 原子炉压力容器	変更なし				
		8.62*2	302	267.4*3	18.2*3	STS410*13		変更なし 9.22*6	変更なし 306*6	変更なし		
				267.4 /216.3	21.4 /18.2	STS410*13						
			216.3*3	15.1*3	STS410*13							
	*15 残留熱除去系ポンプ(B)出口分岐部 ～ 熱交換器(B)出口配管合流部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410	変更なし					
	*15 サプレッションプール水移送配管(B)分岐部 ～ 代替循環冷却配管残留熱除去系(B)分岐部	3.43*2	182	165.2*3	7.1*3	STPT410	*38 サプレッションプール水移送配管(B)分岐部 ～ 代替循環冷却配管残留熱除去系(B)分岐部	変更なし				
		—						3.43	182	165.2*3 /165.2	7.1*3 /7.1	STPT410
	*15 代替循環冷却配管残留熱除去系(B)分岐部 ～ E11-F029B	3.43*2	182	165.2*3	7.1*3	STPT410	変更なし					
	*15 E11-F029B ～ 残留熱除去系配管(B)圧力抑制室プール水排水系入口配管合流部	3.43*2	182	165.2*3	7.1*3	STPT410						
				165.2*3 /165.2	7.1*3 /7.1	STPT410						
	1.72*2	66	165.2*3	7.1*3	STPT410							
*39 サプレッションプール注水配管(B)分岐部 ～ サプレッションチェンバ	3.43*2	182	267.4*3	12.7*3	STPT410*11	*23 サプレッションプール注水配管(B)分岐部 ～ サプレッションチェンバ	変更なし					
			267.4*3	9.3*3	STPT410*11		変更なし	変更なし 166*6	変更なし			
	267.4*3 /267.4	9.3*3 /9.3	STPT410*11									
	0.31*2	104	267.4*3	9.3*3	STPT410*11		変更なし 0.62*6	変更なし 166*6	変更なし			
			267.4*3 /267.4	9.3*3 /9.3	STPT410*11							
		267.4*3, *10	9.3*3, *10	STPT410*10, *11								
			267.4*3	9.3*3	SUS304TP							
*40 サプレッションチェンバスプレイモード(B)分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (サプレッションチェンバ側)	3.43*2	182	114.3*3	6.0*3	STPT410*11	*41 サプレッションチェンバスプレイモード(B)分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (サプレッションチェンバ側)	変更なし					
		104	114.3*3	6.0*3	STPT410*11		変更なし	変更なし 200*6	変更なし			

変更前						変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
残留熱除去系	*42 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (ドライウェル側)	3.43*2	182	267.4*3	12.7*3	STPT410*11	*43 ドライウェルスプレイモード(B)分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (ドライウェル側)	変更なし	200*6	変更なし	変更なし	変更なし	
			171	267.4*3	15.1*3	12.7*3							STPT410*11
			267.4*3	15.1*3	12.7*3	STPT410*11							
	*15 低圧炉心注水モード(B)分岐部 ～ 残留熱除去系配管(B)燃料プール冷却浄化系入口配管合流部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410	変更なし	変更なし	200*6	変更なし	変更なし	変更なし	
				406.4*3	21.4*3	17.4*3							STS410
	*44 残留熱除去系ストレーナ(C) ～ 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部	0.31*2	104	457.2*3	457.2*3	457.2*3	*4 [ ]	*31 残留熱除去系ストレーナ(C) ～ 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部	0.62*6	166*6	変更なし	変更なし	変更なし
				457.2*3	457.2*3	457.2*3							
				457.2*3, *10	9.5*3, *10	9.5*3, *10							
	*45 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(C)	1.37*2	182	457.2*3	9.5*3, *10	9.5*3, *10	*7 (9.5*3)	*31 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部 ～ 残留熱除去系ポンプ(C)	9.22*6	306*6	変更なし	変更なし	変更なし
				466.8*3	14.3*3	14.3*3							
355.6*3				11.1*3	11.1*3	SM400C*8							
366.8*3				16.7*3	16.7*3	SM400C*8							
*46 原子炉压力容器 ～ 残留熱除去系(C)燃料プール冷却浄化系配管合流部	8.62*2	302	318.5*3	21.4*3	21.4*3	*13	変更なし	9.22*6	306*6	変更なし	変更なし	変更なし	
			318.5*3, *10	25.4*3, *10	25.4*3, *10								STS410*10, *11
			355.6*3	27.8*3	27.8*3								STS410*13
			355.6*3	23.8*3	23.8*3								STS410*13
*46 残留熱除去系(C)燃料プール冷却浄化系配管合流部 ～ 原子炉压力容器(C)系出口配管合流部	1.37*2	182	355.6*3	11.1*3	11.1*3	*11	変更なし	9.22*6	306*6	変更なし	変更なし	変更なし	
			355.6*3, *10	11.1*3, *10	11.1*3, *10								STPT410*10, *11
			355.6*3	11.1*3	11.1*3								STPT410*11
*15 E11-F016C ～ 残留熱除去系(C)燃料プール冷却浄化系配管合流部	1.37*2	182	318.5*3	10.3*3	10.3*3	*11	変更なし	9.22*6	306*6	変更なし	変更なし	変更なし	
			318.5*3	10.3*3	10.3*3								STPT410

変更前						変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
残留熱除去系	*47 残留熱除去系ポンプ(C) ～ 残留熱除去系ポンプ(C)出口分岐部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11	*31 残留熱除去系ポンプ(C) ～ 残留熱除去系ポンプ(C)出口分岐部  *31 残留熱除去系ポンプ(C)出口分岐部 ～ 残留熱除去系熱交換器(C)  *31 残留熱除去系熱交換器(C) ～ サブプレッションプール水移送配管(C)分岐部  *31 サブプレッションプール水移送配管(C)分岐部 ～ サブプレッションプール水移送配管(C)分岐部 ～ 熱交換器(C)出口配管合流部  *31 熱交換器(C)出口配管合流部 ～ サブプレッションプール注水配管(C)分岐部  *32 サブプレッションプール注水配管(C)分岐部 ～ サブプレッションチェンバस्पレイモード(C)分岐部	3.43*2	182	318.5*3, *10	17.4*3, *10	STS410*10, *13	変更なし
				318.5 /318.5*14 /318.5	17.4 /17.4*14 /17.4	STS410*13							
				318.5*3	14.3*3	STPT410*11							
	318.5*3, *10	17.4*3, *10	STS410*10, *13										
	508.0 /318.5	26.2 /17.4	STS410*13										
	508.0 /318.5	26.2 /17.4	STS410*13										
除去系	*48 サブプレッションプール水移送配管(C)分岐部 ～ 熱交換器(C)出口配管合流部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11	*31 サブプレッションプール注水配管(C)分岐部 ～ サブプレッションチェンバस्पレイモード(C)分岐部	3.43*2	182	318.5*3, *10	17.4*3, *10	STS410*10, *13	変更なし
				318.5 /318.5 /165.2*14	17.4 /17.4 /11.0*14	STS410*13							
				318.5*3	14.3*3	STPT410*11							
	318.5*3, *10	17.4*3, *10	STS410*10, *13										
	318.5 /318.5	17.4 /17.4	STS410*13										
	318.5 /318.5 /267.4	17.4 /17.4 /15.1	STS410*13										
*48 サブプレッションプール注水配管(C)分岐部 ～ サブプレッションチェンバस्पレイモード(C)分岐部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11	*7 (11.6*3) SFVC2B	3.43*2	182	125.5*3	*7 (6.0*3) SFVC2B	SFVC2B	変更なし	
			114.3*3	SFVC2B									

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
残留熱除去系	*48 サプレッションチェンバスプレイモード(C)分岐部 ～ ドライウェルスプレイモード(C)分岐部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11	*32 サプレッションチェンバスプレイモード(C)分岐部 ～ ドライウェルスプレイモード(C)分岐部	変更なし			
				318.5 /318.5 /267.4	17.4 /17.4 /15.1	STS410*13					
	*48 ドライウェルスプレイモード(C)分岐部 ～ 低圧注水モード(C)分岐部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11	*18 ドライウェルスプレイモード(C)分岐部 ～ 低圧注水モード(C)分岐部	変更なし			
				318.5 /318.5*14 /318.5	17.4 /17.4*14 /17.4	STS410*13					
	*48 低圧注水モード(C)分岐部 ～ 原子炉压力容器	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410*11	*18 低圧注水モード(C)分岐部 ～ 原子炉压力容器	変更なし			
				318.5 /267.4	17.4 /15.1	STS410*13					
				267.4*3, *10	15.1*3, *10	STPT410*10, *11					
				267.4*3	12.7*3	STPT410*11					
				267.4 /267.4 /—	15.1 /15.1 /—	STPT410*11					
	8.62*2	302	267.4*3	18.2*3	STS410*13	変更なし 9.22*6	変更なし 306*6	変更なし			
			267.4 /216.3	21.4 /18.2	STS410*13						
			216.3*3	15.1*3	STS410*13						
*15 残留熱除去系ポンプ(C)出口分岐部 ～ 熱交換器(C)出口配管合流部	3.43*2	182	318.5*3	14.3*3	STPT410	変更なし					
*15 サプレッションプール水移送配管(C)分岐部 ～ E11-F029C	3.43*2	182	165.2*3	7.1*3	STPT410						
*15 E11-F029C ～ 残留熱除去系配管(A), (C)圧力抑制室 プール水排水系入口配管合流部	3.43*2	182	165.2*3	7.1*3	STPT410						
165.2 /165.2 /—			7.1 /7.1 /—	STPT410							
1.72*2	66	165.2*3	7.1*3	STPT410							

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
残留熱除去系	*49 サブプレッションプール注水配管(C)分岐部 ～ サブプレッションチェンバ	182	267.4 <sup>*3</sup>	12.7 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*11</sup>	*23 サブプレッションプール注水配管(C)分岐部 ～ サブプレッションチェンバ	変更なし					
		3.43 <sup>*2</sup>	104	267.4 <sup>*3</sup>	9.3 <sup>*3</sup>		STPT410 <sup>*11</sup>	変更なし	変更なし	166 <sup>*6</sup>	変更なし	
			267.4 <sup>*3</sup> /267.4 /—	9.3 <sup>*3</sup> /9.3 /—	STPT410 <sup>*11</sup>							
		0.31 <sup>*2</sup>	104	267.4 <sup>*3</sup>	9.3 <sup>*3</sup>		STPT410 <sup>*11</sup>	変更なし	0.62 <sup>*6</sup>	変更なし	変更なし	
				267.4 <sup>*3</sup> /267.4 /—	9.3 <sup>*3</sup> /9.3 /—		STPT410 <sup>*11</sup>					
				267.4 <sup>*3, *10</sup>	9.3 <sup>*3, *10</sup>		STPT410 <sup>*10, *11</sup>					
	267.4 <sup>*3, *10</sup>			9.3 <sup>*3, *10</sup>	SUS304TP <sup>*10</sup>							
	*50 サブプレッションチェンバスプレイモード(C)分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (サブプレッションチェンバ側)	3.43 <sup>*2</sup>	182	114.3 <sup>*3</sup>	6.0 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*11</sup>	*51 サブプレッションチェンバスプレイモード(C)分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (サブプレッションチェンバ側)	変更なし				
			104	114.3 <sup>*3</sup>	6.0 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*11</sup>		変更なし	200 <sup>*6</sup>	変更なし		
	*52 ドライウエルスプレイモード(C)分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (ドライウエル側)	3.43 <sup>*2</sup>	171	114.3 <sup>*3, *10</sup>	6.0 <sup>*3, *10</sup>	STPT410 <sup>*10, *11</sup>	*51 ドライウエルスプレイモード(C)分岐部 ～ 原子炉格納容器スプレイ管 (ドライウエル側)				変更なし	
267.4 <sup>*3</sup> /216.3				15.1 <sup>*3</sup> /12.7	STPT410 <sup>*11</sup>	変更なし		200 <sup>*6</sup>	変更なし			
216.3 <sup>*3</sup>				10.3 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*11</sup>							
*15 低圧注水モード(C)分岐部 ～ 残留熱除去系配管(A), (C)燃料プール冷却浄化系入口配管合流部	3.43 <sup>*2</sup>	182	318.5 <sup>*3</sup>	14.3 <sup>*3</sup>	STPT410	変更なし						
			406.4 <sup>*3</sup> /318.5	21.4 <sup>*3</sup> /17.4	STS410							

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系ストレーナからサブプレッションチェンバ」及び「サブプレッションチェンバから残留熱除去系ポンプ(A)まで」と記載。  
 \*2 : SI 単位に換算したものである。  
 \*3 : 公称値を示す。  
 \*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS304」と記載。記載内容は設計図書による。  
 \*5 : 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (低圧注水系) 及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備 (サブプレッションチェンバプール水冷却系) と兼用。  
 \*6 : 重大事故等時の使用時の値。  
 \*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-1-3-2-1「管の基本板厚計算書」による。  
 \*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41C」と記載。記載内容は設計図書による。  
 \*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブプレッションチェンバから残留熱除去系ポンプ(A)まで」と記載。  
 \*10 : エルボを示す。

- \*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は設計図書による。
- \*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器からポンプ(A)入口配管まで」と記載。
- \*13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。記載内容は設計図書による。
- \*14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「一」と記載。記載内容は設計図書による。
- \*15：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- \*16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系ポンプ(A)から残留熱除去系熱交換器(A)まで」と記載。
- \*17：記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系熱交換器(A)から復水給水系まで」と記載。
- \*18：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）と兼用。
- \*19：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系、低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系、低圧代替注水系）と兼用。
- \*20：本設備は既存の設備である。
- \*21：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高圧代替注水系、低圧注水系、低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系、高圧代替注水系、低圧代替注水系）と兼用。
- \*22：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(A)出口配管からサブプレッションチェンバへ」と記載。
- \*23：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（サブプレッションチェンバプール水冷却系）と兼用。
- \*24：記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系ストレーナからサブプレッションチェンバ」及び「サブプレッションチェンバから残留熱除去系ポンプ(B)まで」と記載。
- \*25：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系、サブプレッションチェンバプール水冷却系、代替循環冷却系）と兼用。
- \*26：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブプレッションチェンバから残留熱除去系ポンプ(B)まで」と記載。
- \*27：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器からポンプ(B)入口配管まで」と記載。
- \*28：記載の適正化を行う。既工事計画書には「圧力容器出口配管から原子炉冷却材浄化系まで」と記載。
- \*29：記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系ポンプ(B)から残留熱除去系熱交換器(B)まで」と記載。
- \*30：記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系熱交換器(B)から原子炉圧力容器まで」と記載。
- \*31：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系、サブプレッションチェンバプール水冷却系）と兼用。
- \*32：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）と兼用。
- \*33：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系、代替格納容器スプレイ冷却系）と兼用。
- \*34：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系、代替格納容器スプレイ冷却系、代替循環冷却系）と兼用。
- \*35：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系、代替循環冷却系）と兼用。
- \*36：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系、低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系、代替循環冷却系、低圧代替注水系）と兼用。
- \*37：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧注水系、低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）と兼用。
- \*38：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替循環冷却系）と兼用。
- \*39：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(B)出口配管からサブプレッションチェンバへ」と記載。
- \*40：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(B)出口配管からサブプレッションチェンバスプレイ管へ」と記載。
- \*41：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系、代替格納容器スプレイ冷却系）と兼用。
- \*42：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(B)出口配管からドライウェルスプレイ管へ」と記載。
- \*43：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系、代替格納容器スプレイ冷却系、代替循環冷却系）と兼用。
- \*44：記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系ストレーナからサブプレッションチェンバ」及び「サブプレッションチェンバから残留熱除去系ポンプ(C)まで」と記載。
- \*45：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブプレッションチェンバから残留熱除去系ポンプ(C)まで」と記載。
- \*46：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器からポンプ(C)入口配管まで」と記載。
- \*47：記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系ポンプ(C)から残留熱除去系熱交換器(C)まで」と記載。
- \*48：記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系熱交換器(C)から原子炉圧力容器まで」と記載。
- \*49：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(C)出口配管からサブプレッションチェンバへ」と記載。
- \*50：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(C)出口配管からサブプレッションチェンバスプレイ管へ」と記載。
- \*51：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器スプレイ冷却系）と兼用。
- \*52：記載の適正化を行う。既工事計画書には「熱交換器(C)出口配管からドライウェルスプレイ管へ」と記載。

以下の設備は、既存の原子炉冷却材の循環設備（復水給水系）であり、残留熱除去設備（残留熱除去系）として本工事計画書で兼用とする。  
 復水給水系 代替注水配管復水給水系(A)合流部～原子炉圧力容器

復水給水系 代替注水系配管 B21-F056A 出口合流部～代替注水配管復水給水系(A)合流部